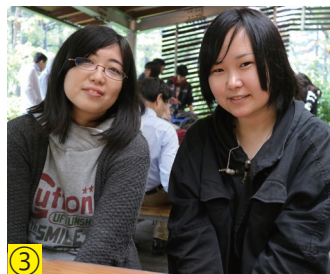


2018年度江戸川ウォーク・レポート② 大イベントを支える人たち

4月25日、毎年恒例の「江戸川ウォーク」が全学部全学科の1年生全員が参加して、野田市の清水公園で行われた。本来なら基礎ゼミごとに分かれ、江戸川沿いを歩いたあと、バーベキューをしながら先生や学生間の親睦を深める予定だったが、残念ながら悪天候の

ため、ウォーキングは中止となった。それでも1年生にとって大学生活で初めての大会は、教員や職員、さらには上級生の支えがあって盛り上がった。ここでは、学生リーダーとフットボールクラブの活躍をレポートする。(撮影・取材・文: 上山香月)



③



②



①



⑥



⑤



④



⑨



⑧



⑦

①フットボールクラブのみなさん、道案内をありがとう。②カードリーダーで、まずエドへん。③学生リーダーの林さん(左)と齊藤さん。④会場は広いから、けっこう迷います。ね、古城先生(左)、青木先生。⑤そろそろ、お肉は食べごろ。⑥広報課や学術情報課の職員も記録に余念がない。⑦1年生の一番の苦労は、火を起こすこと。⑧小口学長(左)、隈本学生部長(中)、荒谷教授。⑨様々な部署の職員も参加している。

当日の朝は雷注意報が発令されるほど天気が荒れていたため、1年生は予定より1時間遅れて、正午にバーベキュー会場がある清水公園に集合となった。だが、午前8時に大学へ集合していた学生リーダー9名とフットボールクラブ10名、計19名の学生たちは大雨のなかバーベキューの開始が遅くなったため、そのまま待機していた。学生リーダーは新入生の履修相談を始め、様々な大学行事の運営に携わっている学生だ。ガイダンスや履修相談で学生リーダーにお世話になった1年生も多い

だろう。「2時間待たされたのはさすがに辛かった。例年なら、川間駅近くの河川敷で、学生リーダーは基礎ゼミごとの名簿とカードリーダーで1年生の集合を確認する。ウォーキングが始まったら、フットボールクラブに加わり、清水公園までの道案内をする。仕事ができずに、雨を見ながら待機するだけなのは、気が滅入るのだ。ようやく2時間後の午前10時に、マイクロバスに乗って清水公園へ向かう。会場に着くとフットボールクラブ員たちは、清水公園駅から清水公園までの道で、プラカードを持って道案内をする。横断歩道で傘を差しながら、車の往来に気を遣う誘導は、思いのほかプレッシャーがかり疲れる。フットボールクラブの3年岸本響さんは「誘導はすっと立ちっぱなしだから」と苦笑を漏らした。

学生リーダーの4年齊藤彩香さんは「例年、集合時間ギリギリになっているのに、ゆっくり歩いている1年生がいるから、そういう学生たちを時間に間に合うように急がせない」と話す。それでも「大変な面もあるけど、楽しさが勝ったから今年も参加した」と同じく学生リーダーの4年林夏彩さんは語る。

バーベキューも終わって1年生が帰路に着くころ、最後の仕事が続いている。1年生が使用したテーブルを中心に、通路や水場、ごみ置き場などを見回り、ごみや忘れ物をチェックする。今年は、朝方の雨が午後にはすっかり止んでいたのに、ビニール傘の忘れ物が多かった。学生の忘れ物は同行している学務課の職員に引き渡す。

さらに、ペットボトルの水やお茶、各テーブルで使った焼き肉のたれを回収するのも彼らの仕事だ。半分くらい入っていない焼き肉のたれのボトルが何本もあると、処理が二度手間になって大変」と学生リーダーの林さん。

こうして、今年も学生リーダーとフットボールクラブが目に見えないところで、1年生の笑顔を支えてくれたのだ。